

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	静岡県・家庭裁判所沼津支部庁舎	階数	地上6F
建設地	静岡県沼津市御幸町21-1	構造	SRC造
用途地域	近隣商業地域・準防火地域	平均居住人員	300 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2023年11月27日
敷地面積	5,484 m <sup>2</sup>	作成者	㈱あい設計 藤本憲生
建築面積	1,589 m <sup>2</sup>	確認日	2023年12月8日
延床面積	7,762 m <sup>2</sup>	確認者	㈱あい設計 春名貢



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 2.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.1

**LR のスコア = 3.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>外皮性能を高め、高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の低減に努めた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>使用建材全てにF☆☆☆☆製品を使用し、室内空気質環境へ配慮した。</li> <li>高い昼光率を確保し、光・視環境にも配慮した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゆとりのある階高と空間の自由さを確保し、設備やプランニングの自由度が極めて高い</li> <li>給排水配管に長寿命材の採用等により更新・維持管理のしやすい配慮がなされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物形状や緑地などの取り組みにより周辺の街並みや景観に考慮している</li> </ul>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>BPI=0.79 BEI=0.57</li> <li>高効率設備の採用により、省エネルギー性に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>躯体材料及びそれ以外の材料にリサイクル材を採用し、非再生性資源の使用量削減に努めた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量を71%に抑制し、地球温暖化対策に配慮した。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される